

8 授業研究を活用する

授業研究のねらい

学習指導案を作成し授業を参観し合い、事後等に研究会を開催する一連の取組が授業研究です。学習指導に対する意見等を参観者から得られる研究授業は、授業づくりに関する課題等を明らかにして、その後の指導改善に役立てることができる貴重な機会です。常日頃から指導の振り返りを行いながら授業改善に努めますが、「研究授業」という形を取ることで、教師同士で協力しながら客観的に問題点の原因を探ったり、相互に改善方法の提案を試みたりすることが可能となります。

☆教材の工夫がしたい

「研究授業のために、教材を工夫して作成したいけれど、学校ではつくれるのだろうか・・・」

そんな声にお応えして、総合教育センターのカリキュラム開発センターには、「教材工房」があります。

ここでは、教材作成に役立つ機器（大判プリンタ、高速カラープリンタ等）がそろっています。

所員が教材づくりの相談に乗ることもできます。

研究授業の準備

研究授業を行う際には、授業づくりの課題を明確にすることが必要です。そして、課題解決のためにどのような手立てを取るのか、どのような工夫をするのかを考えます。学習指導案を作成したり、教材・教具を工夫したりといった様々な教材研究をすることと思いますが、その全てが授業研究につながり、自身の力になります。

研究授業の留意点

研究授業では、授業のポイントを参観者にあらかじめ伝えておくことが必要です。授業のねらい、単元（題材）目標や単元（題材）構想、授業づくりの課題と解決に向けた工夫点等を明確に示すことで、適切な助言がもらえます。また、記録メモの作成やビデオ撮影等によって、自分の授業を客観的に振り返ることができ、授業改善につながります。

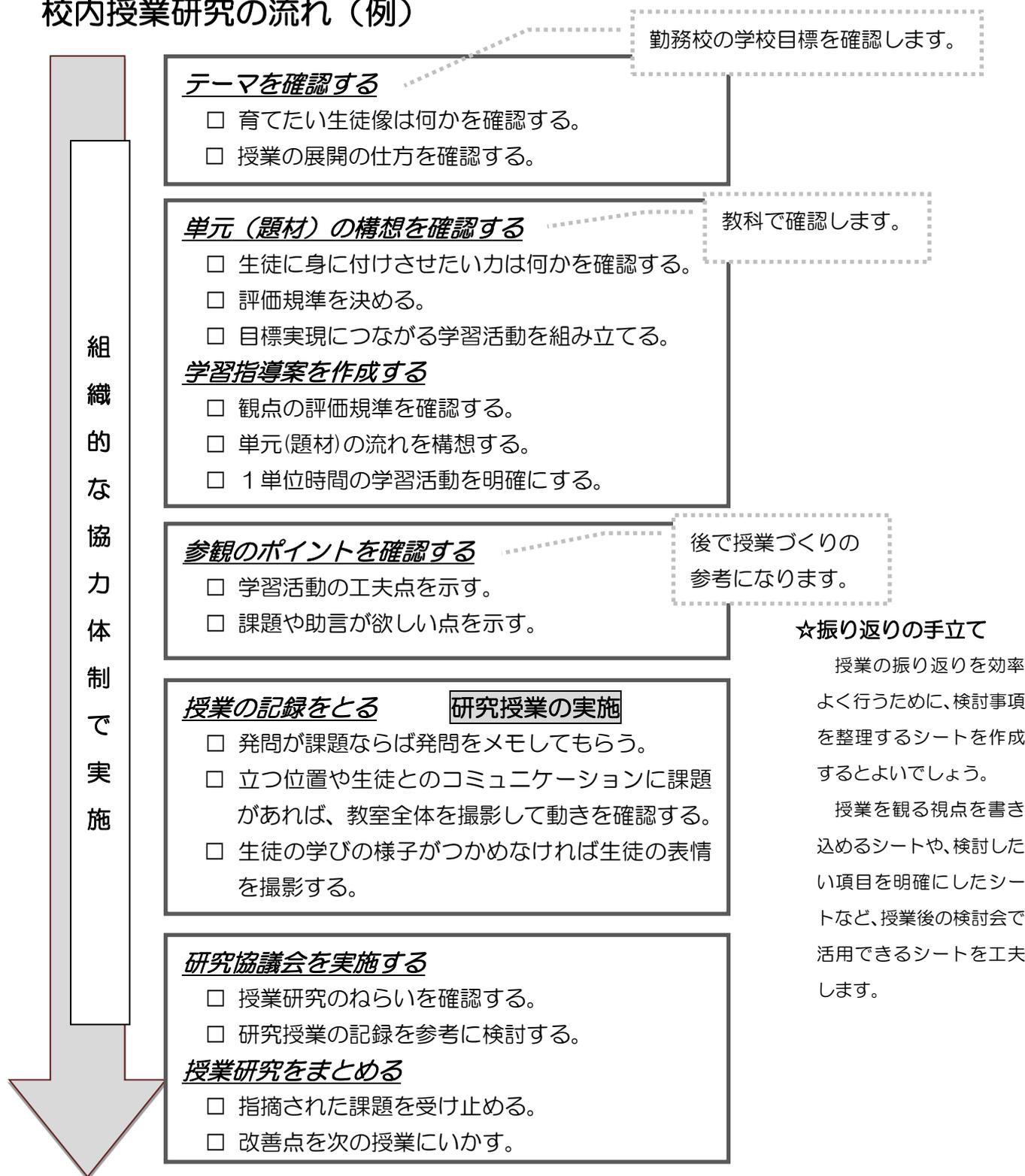
個別支援
が必要な
生徒への
対応を考
えよう

ビデオカメラを用いた授業研究

教室の前方から、ビデオカメラを用いて生徒の学習の取組を録画しておき、授業研究としてビデオを見合うことは大変効果的です。

表情や手の動きから、生徒の学びを見取ることができます。首をかしげたとき、何か言葉を発したとき、それが何を意味するのかを検討することで、生徒にとっての授業の意味が明確になります。

校内授業研究の流れ（例）



授業研究ライブラリーの活用

総合教育センターのカリキュラム開発センターでは、特色のある授業や教科指導の参考となる教材・教具の活用場面などを撮影・編集してDVDを制作しています。また、一部については貸出及びパスワードを付与してのインターネット配信を行っています。 →参考資料-6

〔相談窓口〕 電話 (0466) 81-1679

月～金曜日 8:30～17:15 (祝祭日、12月29日～1月3日を除く)